



海の幸を育む 山に緑を

団体紹介

すし業界の発展を図ることを目的とし、昭和43年に設立。現在県下に11支部をもち、組合員が加盟している、山形県内のすし商経営者の団体です。



7月5日 下刈作業



8月9日
環境保全活動学習会



11月8日 捕植作業



8月9日
「巻き寿司」体験学習



活動内容

豊かな海を育てるのは川、水の源は森林であるとの考えのもと、良質な水質を維持し、海や川の幸を守り育てると共に、美しい県土の形成を図るため、平成15年に「源流の森」に500本のブナを植栽し下刈と捕植を続け、広葉林の育成に努めるための活動を行ってきました。今年度は令和4年8月の豪雨で被害箇所を整備と捕植、飯豊町の小学生を対象にした環境保全学習会を実施し森づくり活動の意義を説明しました。また、食生活が多様化する中で、食文化の継承の手段の一つとして、組合員と一緒に「巻き寿司」をつくる体験学習を行い交流を深めました。

活動の感想

豊かな生態系をもつ里山を維持管理することで、自然環境を良好な状態に保ち、ひいては川によって繋がっている海の環境を守り「海の幸」を保護し、次世代に豊かな自然環境を残すため、また地球温暖化の問題が深刻な現在、少しでも二酸化炭素の減少につながるよう、地道ではあるが活動を続けている事を伝えることが出来たと思います。